

令和2年度予算

※表示単位未満をそれぞれ四捨五入しているため、合計は総額と一致しない場合があります。

一般会計予算額
537億円(前年度比2.3%増)

特別会計予算額
256億4,300万円(前年度比1.4%減)

企業会計予算額
301億9,716万円(前年度比3.7%増)

一般会計予算のポイント

令和2年度当初予算では、市民の皆さんが、いつまでも安心して健やかに暮らせるまち、住み続けたい魅力あふれるまちをめざす「暮らしやすさ向上予算」を編成しました。

①「健やかに暮らせる地域づくり」

保育所や放課後児童クラブなどの待機児童対策や、保育料・給食費の無償化などの負担軽減といった子育て支援のほか、地域で安心して暮らせる「地域共生社会」に向けた仕組みづくりや、いつまでも元気で心豊かに暮らせる「健康づくり」に取り組みます。

②「安心安全の基盤づくり」

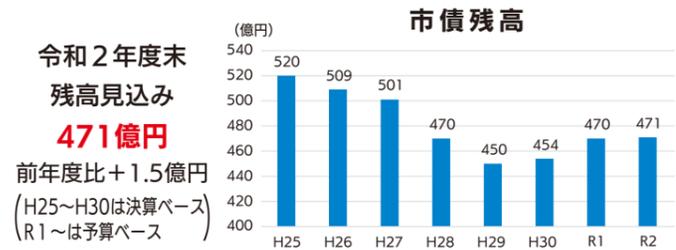
災害に備えた防災無線や防災ラジオの整備、マップの配布など対策の強化を図るほか、学校等での安全対策強化を図ります。また、日ごろの安全を守るため、公共施設の保全をはじめ、道路や橋梁、河川などのインフラ整備に取り組みます。

③未来へつなぐ「いきなり」

農業などの6次産業化や創業支援といった新たなビジネスの創出のほか、女性の就労促進や若者の人材確保等の雇用対策、小谷城スマートインターチェンジ周辺などへの特色ある企業誘致に取り組みます。また、インバウンドをはじめとした新たな観光誘客のほか、関係人口の創出や移住促進の強化を図ります。

◆市債(市の借金)の状況(一般会計分)

大型建設事業により平成30年度以降増加傾向ですが、計画的な繰上償還で市債残高を抑制しながら、投資的事業の推進と財政の健全化を両立していきます。



長浜家(市)の家計簿 ~年収400万円の家計に例えてみました~

収入・支出項目(実際の項目)	収入の部	支出の部	前年との増減
給与(市税や地方交付税など)	400万円		±0
その他雑収入(施設の利用料など)	58万円		±0
親からの仕送り(国や県からの支出金)	119万円		-6万円
生活費(人件費や委託料、補助金など)		313万円	+30万円
医療費(福祉関係にかかるお金)		132万円	+2万円
自宅の修理費(道路や学校などの修繕費)		4万円	+1万円
自宅の増築(道路や学校などの建築事業費)		40万円	-36万円
子どもへの仕送り(特別会計に支出するお金など)		58万円	+1万円
借金の返済(市債の元金や利子の支払い)		60万円	+12万円
貯金(基金に積み立てるお金)		1万円	±0
その他(予備費など)		10万円	±0
小計	577万円	618万円	
収入不足の補填			
・貯金の取り崩し(財政調整基金繰入金)		貯金残高 66万円(±0万円)	
・借金(市債)	41万円	借金残高 542万円(+2万円)	
合計	618万円	618万円	

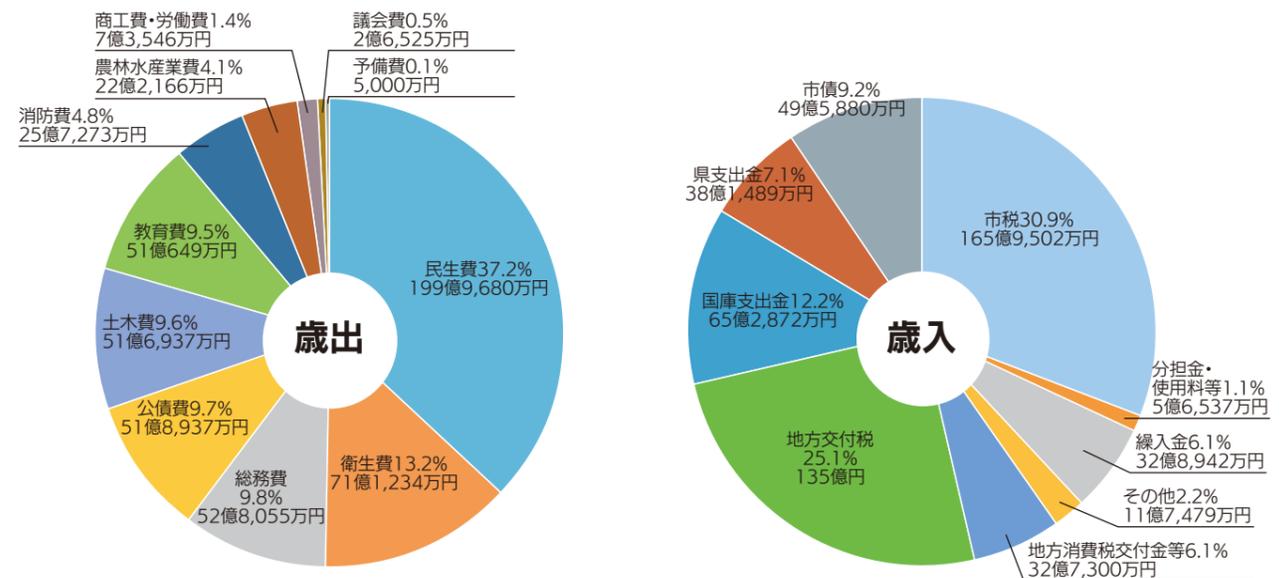
表を見ると、生活費や借金の返済など、必ず支払わなければならないものへの出費が多いことが分かります。家計でいうと、自由に使えるお金が少なく、節約が厳しい状況といえます。

このような中、自宅の増築などの投資はなるべく控

えるなど、家計を健全に維持するために支出を抑えたり、将来の暮らしのために借金を繰り上げ返済したりしながら、バランスを堅持しています。

今後も、先を見据えて必要なことに取り組み、引き続きお金のやりくりにも力を入れていきます。

一般会計【歳入・歳出の内訳】



歳出のポイント

民生費は、保育園・認定こども園・放課後児童クラブの運営費やしょうがい者自立支援給付費等の増加により前年度比3.4%増。衛生費は、湖北広域行政事務センターの斎場整備負担金の増加により53.4%増となりました。また公債費は、繰上償還金が大きく増加し25.2%増となりました。

一方、教育費は、ながはま文化福祉プラザや長浜伊香ツインアリーナの整備費が大きく減少したため、36.3%減となりました。

歳入のポイント

市税は、給与所得の増加による個人市民税の増や家屋の増築に伴う固定資産税の増により前年度比0.5%増。地方交付税は、合併算定替の縮減等による普通交付税の減少で1.5%減、国庫支出金は大型の建設事業の終了等で5.3%減となりました。

また、市債は、ながはま文化福祉プラザ等の建設事業が終了したものの、湖北広域行政事務センターの斎場や防災行政無線等の整備に伴い36.8%増となりました。

※この特集は、16ページの「市民からのメッセージ」の対象です。